

## 第10回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2016年10月17日（月）13：30～16：00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 大会議室

### 1. 専門委員会の当面の対応について

NDF事務局より、廃棄物対策専門委員会の当面の進め方について説明した。

### 2. IRID 研究成果報告

国際廃炉研究開発機構（IRID）より、事故廃棄物処理・処分技術の開発（国プロ）のこれまでの開発成果に関して報告があった。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

○開発の目標設定と、それに必要なデータの充足性を確認しながら進めてもらいたい。

○今年度までの研究成果整理で課題が出てから考えるのでは遅いので、廃棄物処分の観点のみならず、解体工法への要求等を考慮してやるべきことを早めに明確にして開発を実施していくべきである。

○性状把握、保管管理、処分、3つの分野において、次の目標としている2021年度頃の時点でどういう状態に落ち着くのか見通しを立てたうえで、目標が一部達成できなかった場合の備えを考慮しながら進めてもらいたい。

○これまでの廃棄物とは違って、燃料損傷が生じた原子炉から発生する廃棄物も扱うことになるため、全体がうまく収まるよう、新しい処分方式の提案も含めて検討してもらいたい。

○処理だけを考えるのではなく、処分前管理の廃棄体の固定化から処分まで合わせて、どういう方法が一番良いのかを考えていく必要がある。

### 3. その他議題

○次回廃棄物対策専門委員会について

以 上